

令和元年度第4回行政改革推進委員会会議録

日時 令和2年1月30日(木)
午前10時10分から11時50分
場所 市役所新館4階 第1委員会室

出席者

(委員) 茶谷会長、山下委員、稲垣委員、大鹿委員、森下委員
(本部) 市長、副市長、教育長、参事、行政経営部長、市民生活部長、健康福祉部長、
経済建設部長、議会事務局長、教育部長
(事務局)行政経営部次長、企画政策課長、課長補佐兼政策推進担当係長、政策推進担当

■市長挨拶

おはようございます。

行政改革推進委員の皆様におかれましては、お忙しい中、審議にご協力いただきありがとうございます。

現在のあらゆる環境変化は世界的な影響を受けているものが多く、本市のような人口6万9千人ほどの小さな自治体でも、自ら経営について考えていかなければならない時期にきている。このような状況の中で、日々顕在化する様々な課題に対応しなければならず、また、現在暮らす市民だけでなく、40年後の市民にも満足してもらえらる市政を運営していかなければならない。

教育環境に関しては、トイレの洋式化を決定したのちに普通教室へのエアコン設置が急務となり、さらには、プログラミング教育の開始が目の前まで来ている状況である。市民の皆様からの税金をどのように子どもたちの教育に還元していくかを考えていくうえで、今回レビューの対象事業となっている「夏休みの学校プール開放事業」も、より効率的・効果的な事業となるよう見つけ直したい。

委員それぞれの立場で、忌憚のないご意見をいただきますよう、お願いいたします。

◇議事の概要

■夏休みの学校プール開放事業

学校教育課から事業説明シート及び参考資料をもとに説明した。

(以下、上記説明に関する質疑及び意見等)

○他自治体のアンケートを見たり、小中学校の保護者の話を聞くと、おおむね70～80パーセントの割合で、夏休みのプール事業については継続を望んでいるようである。

おそらく豊明市においても同様の状況であると推測されるが、どう考えているか。
⇒利用者数が以前より減少したとはいえ、コアな利用者は多いと考えられる。今後、事業の方向転換をすることになれば、子どもたちの声をよく聞き、進めていきたいと考えている。

○事業の参加者の声を聞くとのことであるが、具体的な方法は定まっているか。
⇒令和2年度については、今年度と同様に事業を進めるので、そこで利用者アンケートを実施する予定である。集まった意見は事業実施方法の検討に大きく反映させていきたい。

○「3. 課題」において3点ほど挙げられている。この事業では既存の建物を使用しているとのことだが、老朽化していることを考えると、維持管理費等についても課題とするべきではないか。
⇒ご指摘とおり、維持管理費等については大きな課題である。ただし、学校授業における水泳指導でもプールを使用しているため、それぞれの学校全体としての長寿命化計画に合わせてコストは計算していきたい。

○「1. 事業概要」の「目的」から鑑みるに、担当部署が学校教育課であるのは適切か。
⇒当初は、スポーツを通じて市民の健康増進を図るということで、福祉体育館にあった体育課が始めた。その後、学校プールを使用しているということもあり、施設管理を行っている学校教育課が引き継ぐことになった。福祉体育館については、指定管理者の管理となったため、組織体系の面からみても学校教育課の所管が適切と考えている。

○事業開始からこれまでに、拡充や地域の偏りの解消、開放期間の延長を考えたことはあるか。
⇒事業開始当時は、市内全域を網羅していたとは言えないが、沓掛小学校も含めて3カ所を実施していた。当時の詳細な事情は分からないが、拡大の方向性はなかったと思われる。

○学校授業における水泳指導を民間委託した場合のメリットとデメリットを、もう少し詳しく教えていただきたい。
⇒民間委託した場合のメリットについては、民間委託するとプロのインストラクターが指導するため、より適切な指導ができる点にある。また、学校プールの老朽化が進んでいるため、新設や改修費用がかからない点も挙げられる。さらに、学校での水泳指導は教員が3人で実施するが、民間委託にすると、教員が1人引率

すればよいので、職員の負担が軽減される。

デメリットとしては、移動に時間がかかるため、指導時間が短くなってしまふ点等がある。

○来年度実施する予定の利用者アンケートは、対象が利用者のみで十分と考えているか。小学生全体には実施しないのか。

⇒実施地域の偏在も課題となっているため、具体的な実施方法は未確定だが、市内全小学校で実施したいと考えている。

○総事業費について、10日間の実施であるにも関わらず、他市町より高額であるように思われる。見直しの予定はあるか。

⇒事業費の内、人件費が大きな割合を占めている。他市町の実施状況を見てみると本市より少ない人員配置で行っていることが分かるため、PTAやボランティア等の協力を得ることも含めて、経費の削減方法を考えていきたい。

○「3. 課題」の「①利用者数」について、他市町の実施状況をみると、長久手市は2校で2か月間実施して1,900人、東郷町は1校で1か月間実施して1,900人の実績がある。それに比べて豊明市は、2校で10日間実施して1,800人の利用がある。これを見ても、本事業の参加者が減少傾向にあるといえるのか。

⇒本事業は約20年間継続して実施しているが、天候等に左右されながらも、開始当初と比べるとかなり減少したと考えている。

○事業の実施日をずらしたことが、参加者増加の要因となったという説明があった。

そのような工夫の結果を積み重ねていけば、参加者がさらに増加する可能性があるということではないか。したがって、「3. 課題」で生活スタイルの変化を参加者減少の理由としてしまうと、事業自体が不要ということになる。しかし、工夫の内容によっては参加者が増加するというのであれば、もう少し慎重な議論を経たうえで課題を導き出さないといけないのではないか。

○業務委託やPTAの協力という話が出てきているが、プール事業というのは人命に係るため、一歩間違えば大きな罪に係るということを斟酌してほしいと思う。確かに行政改革を進める上では、ボランティアの力を借りるということのも大事な要件ではあるが、生活を犠牲にしても良いということにはならないと思うので、できるだけ広い視野で考えていただきたい。

○プール事業自体は市民の健康のために重要なため、この事業の廃止を検討するにあたり代替事業を考えていると思うが、コスト削減等の工夫をした後の具体的な案が

あれば教えていただきたい。

⇒現在考える案としては、輸送手段の検討は必要だが、周辺自治体にあるプール施設の利用料金の補助を考えている。また、屋内にあり暑さ対策もできている市内の民間プールの活用も考えている。

○近隣市町のプールを利用するとのことだが、具体的な施設が決まっていれば教えていただきたい。また、輸送方法についても検討されていれば教えていただきたい。

⇒現在考えているのは、刈谷市の市民プールと東部知多衛生組合のプールである。東部知多衛生組合のプールまでの輸送については、前後駅から大府市のコミュニティバスが出ているので、それを活用したい。ただし、現在の利用者は子どもが多いため、本市で巡回バスを走らせることも考えられるが、コスト面の問題もあるため、まだ検討段階である。

○「5. 論点」に「②民間プールの活用拡大」を挙げているが、コストが増額になってきたときに、現状のまま学校プールの開放を行った方が良いこともあるのではないか。

⇒あまりにもコスト高になってしまえば、何のための行政改革かという話になってしまうので、効率性等については、事業開始前にしっかりと検討したい。

○市民に対する広報はどのように考えているか。

⇒現在もPRは行っているが、学校の教員から児童生徒への周知を強めていきたい。また、ホームページについても学校教育課だけの課題ではないので、高齢者部局等にも協力してもらい、複数の方面からPRを行っていきたい。

○事業が赤字となった場合、市が補填するとのことだが、利用者負担は求めないのか。

⇒現在は無料で開放している。このままの事業形態で利用料を徴収することは難しいが、実施方法が大きく変わった段階で有料化を考えていきたい。市の近年の方向性としても、受益者負担を求める方向性にある。ただし、児童生徒が対象となっているため、負担にならないように考えていきたい。

○事業改善の方策として、保護者やボランティアの協力を検討するということがあったが、私自身が長年ボランティアに係わっていて、不満に感じていることがある。それは、行政の下請けとして扱われることが多いということである。コスト削減のために安易にボランティアの活用を採用するのではなく、市民参加のあり方について、学校教育課だけでなく市としてしっかりと考えていただきたい。

⇒これまでボランティアについては、市長である私が市民としっかりと対話をして

協力してもらってきている。仮に当該事業でボランティアの方の力を借りることになれば、押し付けることはせず、しっかりと協議していきたい。

○ボランティアには高齢者というイメージが強いかもしれないが、地域住民というのは、意外と働く世代が多い。その人達が休暇を取るというのは、なかなか難しいため、対話ではなく、働く世代が参加しやすいようなアイデアを出していくことが重要ではないかと考える。

⇒これはあらゆる地域活動やボランティア活動、市民活動に共通する問題だが、現役世代はほとんど協力していない。地域や地域活動の存続のためにもこの年齢層にいかに協力してもらえるかが、市全体としての大きな課題である。

○「1. 事業概要」の「目的」において市民の健康保持増進と体力の向上を図ることを掲げている中で、今回「夏休みの学校プール開放事業」を取り上げているが、今後のニーズ調査を経て、プール以外の事業でもって目標達成を目指す可能性はあるか。

⇒ニーズ調査の結果を尊重して検討していきたいので、「夏休みの学校プール開放事業」が廃止となる可能性がないとは言えない。

○民間プールの活用を拡大していく場合に、一定期間の確保は可能か。

⇒現時点で確認したところ、大幅な拡大は難しいとのことだが、若干の拡大は可能とのことであった。また、民間プールは1年中営業しているため、夏休み期間に限らず、時期をずらして実施することも考えていきたい。

○プール開放事業は指導員が付いて指導してもらえるようにはならないのか。

⇒当該事業は市民を対象にしているため、そこまでは考えていない。ただし、学校授業における水泳指導の在り方として、民間委託へ舵を切りつつあるため、学校授業だけでは不十分な児童生徒に対して、夏休みを利用して補習の機会を作っていく可能性はあると考えている。

○現在、小学校6校において学校授業における水泳指導の民営化を進めているということだったが、残り3校及び中学校はどうなっていく予定か。

⇒豊明小学校を皮切りに対象校を拡大しており、来年度は小学校6校を民間委託する。プール開放事業を行っている3校と中学校では実施していないことになる。将来的には学校プールが使用できなくなることが想定されているため、民間委託に方向転換していきたいと考えている。ただし、民間事業者側の定員もあるため、一度に受け入れることは難しく、また児童生徒の体調管理の面を考慮すると、寒い時期に実施することは難しいという課題はある。

○学校授業における水泳指導の民営化をした場合、そのプール施設はどうなるのか。
⇒豊明小学校以外は防災面を考慮して、水を張った状態となっている。自衛隊の所有する機器を用いてプールの水を飲料水に変える等の利用方法があるため、現時点で取り壊しは考えていない。

○現在3校で実施している学校授業における水泳指導の民営化の結果、コストダウンにはつながっているか。
⇒修繕費がかからなくなったのは大きいですが、修繕費は年による増減が大きい。修繕費、水道代及び薬剤代と民間委託料を比較すると、3校で700万円ほど削減されている。

◇判定と講評

判定は、「適当」が4名、「判断できない」が1名となった。主な意見は以下のとおり。

- 改善検討の余地は多くあるが、現時点での改善案は適当である。
- 学校授業における水泳指導が民営化していく方向性にあるため、プール開放事業としては見直していくのが適切である。
- コストの比較はしっかりと行う必要がある。
- プール開放事業の所管課や事業の進め方について、すべての関係課を交えて、しっかりと議論していただきたい。

■市長挨拶

本日も活発な議論をありがとうございました。いずれも重要な御意見ですので、それをふまえて事業の改善を考えていきたいと思えます。

本日の議論の中では、学校教育課のみで改善案を考えている状態が望ましくなく、市全体あるいは関係課と一緒に考えていくべきというお話が多くありました。レビューの実施方法として、極力現在の担当課のみで対応する形をとっていた。しかし、市の組織全体として答弁できる形をとった方が、議論が活発化するのではないかと感じた。

今後も、この学校プール開放事業だけでなく、市の事業の進め方全体についても見直しを図っていきたい。

以上

令和元年度第4回行政改革推進委員会 次第

日時 令和2年1月30日(木)

午前10時～正午

会場 新館4階 第1委員会室

挨拶

議題

- 1 第6次行政改革前期推進プラン「総合計画推進事業レビュー」
- 2 その他

豊明市行政改革推進委員会委員名簿

| 所 | 属 | 氏 名 | 備 考 |
|---|---|---------|---------|
| | | 茶 谷 淳 一 | 会 長 |
| | | 山 下 徳 治 | 職 務 代 理 |
| | | 稲 垣 信 彦 | |
| | | 大 鹿 彰 仁 | |
| | | 森 下 博 | |

行政改革推進本部名簿

| 所 | 属 | 氏 名 | 備 考 |
|--------------------------|---|-----------|-------|
| 市 | 長 | 小 浮 正 典 | 本 部 長 |
| 副 市 | 長 | 坪 野 順 司 | |
| 教 育 | 長 | 伏 屋 一 幸 | |
| 参 事 (経 済 建 設 部 担 当) | | 小 森 賢 一 | |
| 行 政 経 営 部 | 長 | 藤 井 和 久 | |
| 市 民 生 活 部 | 長 | 馬 場 秀 樹 | |
| 健 康 福 祉 部 | 長 | 伊 藤 正 弘 | |
| 経 済 建 設 部 | 長 | 宇 佐 見 恭 裕 | |
| 議 会 事 務 局 | 長 | 鈴 木 美 智 雄 | |
| 教 育 部 | 長 | 小 串 真 美 | |

令和元年度 総合計画推進事業レビュー



日時 : 令和2年1月30日(木) 午前10時10分～
会場 : 豊明市役所 新館4階 第1委員会室

豊 明 市

目 次

| | |
|----------------------------|---|
| 1. 傍聴される皆様へのお願い | 1 |
| 2. レビューの対象事業とスケジュール | 1 |
| 3. 総合計画推進事業レビュー（令和元年度実施概要） | 2 |
| 4. 夏休みの学校プール開放事業 | 5 |

傍聴される皆様へのお願い

1. レビューで円滑に審議を進行させるため、以下の注意事項をお守りください。

- ① 傍聴者からのご意見やご質問は、受け付けられません。
- ② 会場への出入りは自由となっています。ただし、レビューの審議の妨げにならないようお願いします。
- ③ 携帯電話は、マナーモードにするか、電源をお切りください。
- ④ レビューの内容に対して発言したり、拍手などの方法で意見を表明するなどの行為はしないでください。
- ⑤ その他、私語についても、レビューの審議の妨げにならないよう控えてください。
- ⑥ 会場での録画、録音及び撮影に制限はありませんが、その使用に関しては、方法・状況等によりトラブルの原因となることもありますので、「使用者の責任」においてご使用ください。
- ⑦ その他、レビューの支障になる行為はしないでください。
- ⑧ 限られた時間内で円滑に審議を進行させるため、係員の誘導・指示に従ってください。

※以上のことをお守りいただけないときは、退場していただくことがあります。

2. 今後の参考とさせていただくため、アンケートをお願いしております。アンケート用紙にご意見・ご感想を記入していただきお帰りの際に受付の回収箱へ提出してください。

レビューの対象事業とスケジュール

| 時間 | 事業名 | 担当部署 | 評価結果 | | |
|-------------|---------------|-------|------|---|---|
| | | | ① | ② | ③ |
| 10:10~10:20 | — 開会式 — | | | | |
| 10:25~11:45 | 夏休みの学校プール開放事業 | 学校教育課 | | | |
| 11:45~11:50 | — 閉会式 — | | | | |

※評価結果 ①適当、②再検討を要する、③判断できない

総合計画推進事業レビュー

(令和元年度実施概要)

1. 実施目的及び概要

(1) 総合計画と総合計画推進事業レビュー

第5次豊明市総合計画では、『みんなでつなぐ しあわせのまち とよあけ』をまちの未来像として、行政だけではなく多様な主体により実現する40の『めざすまちの姿』の実現を目標としています。

豊明市では、行政評価の結果等から出る課題を踏まえて各部の部長が示す経営方針に基づいて、事業の見直し検討及びそれに必要な翌年度の予算編成を行う制度（総合計画マネジメント制度）を実施することで『めざすまちの姿』の実現を推進しています。評価結果が予算に連動するため、評価結果等に基づく新規事業の立案や事業改善、事業廃止等の既存事業の見直しにおいては、客観性がより重要となります。

この総合計画推進事業レビューでは、全事業の評価検証を行うのではなく、新規事業の立案や事業改善、事業廃止等の既存事業の見直しを行うものを対象に実施し、外部の視点からその内容を点検及び意見を聞く機会とすることで事業実施に向けた後押しとすることで、『めざすまちの姿』の実現に向けた推進力を高めることを目的に実施します。

(2) 総合計画推進事業レビューとは

レビュー対象事業の担当部署が考える新規事業、事業改善、事業廃止等の『既存事業の見直し案』について、職員が公開の場で説明します。

このレビューでは、その「論点」や「見直し案」の方向性や内容の妥当性について評価員の皆様と質疑、議論し、その結果を、今後の事業実施に繋げていきます。

また、レビューの実施を通して、職員の成果志向型の説明能力向上の機会とします。

2. 対象事業

第5次総合計画マネジメントや第6次行政改革前期推進プラン等に位置付けられた施策のうち、新規事業の立案や事業改善、事業廃止等の既存事業の見直しに該当するものを対象とし、行政改革推進本部会議で審議、決定しました。

| 事業名 | 担当部署 |
|---------------|-------|
| 夏休みの学校プール開放事業 | 学校教育課 |



3. 評価員

豊明市行政改革推進委員会（以下、行革委員会）による評価

| 役割 | 氏名 | 備考 |
|--------------|-------|------------------------------------|
| 評価員兼コ-ディネーター | 茶谷 淳一 | 行革委員会 会長 (名古屋短期大学 教授) |
| 評価員 | 山下 徳治 | 行革委員会 職務代理 (元豊明市教育委員長) |
| // | 稲垣 信彦 | 行革委員会 委員 (元豊明市消防団団長) |
| // | 大鹿 彰仁 | 行革委員会 委員 (元(公財)名古屋市教育スポーツ協会 監事) |
| // | 森下 博 | 行革委員会 公募委員 (元桜ヶ丘区長) |

4. レビューの進め方

タイムスケジュール [1事業 80分以内]

| | | |
|---|-----------------|--|
| 15~20分間 | 事業説明 | レビュー事業を担当する部署が、見直しの方向性等を説明する。 |
|  | | |
| 45分程度 | 質疑応答 | 見直しの内容について、評価員と担当部署の職員との間で質疑応答を行う。 |
|  | | |
| 15分間 | 評価員のコメント記入および講評 | 評価員が質疑応答の内容を踏まえ、レビューコメントシートにより評価する。コーディネーターが、各評価員のコメント等を踏まえて講評を行う。 |

5. 評価の区分

事業見直し案全体について、以下の区分にて評価を行います。

| | |
|---------|--|
| 適切 | <ul style="list-style-type: none">見直し案の内容（実施主体、手法等）の方向性は、適切と考えられるもの一部、検討課題はあるものの、見直し案の内容（実施主体、手法等）の方向性は概ね適切と考えられるもの |
| 再検討を要する | <ul style="list-style-type: none">論点や見直し案の内容（課題認識、実施主体、手法、方向性等）について検討課題があり、事業の実施にあたって再考が必要と考えられるもの |
| 判断できない | <ul style="list-style-type: none">論点や参考資料等、十分な議論に必要な情報に不足があり、評価の判断ができない。 |

6. 結果の反映

レビューで出た意見等を参考に、担当部署にて今後の事業実施方法等を再度検討します。これを行政改革推進委員会に報告し、令和2年度以降の事業実施方法に反映させることを目標としています。

夏休みの学校プール開放事業

令和元年度 総合計画推進事業レビュー 事業説明シート

| | |
|-----|---------------|
| 事業名 | 夏休みの学校プール開放事業 |
|-----|---------------|

| | |
|------|-------|
| 担当部署 | 学校教育課 |
|------|-------|

1. 事業概要

| | |
|------------|--|
| めざすまちの姿 | 37 子どもが夢を持ち、将来グローバル（グローバル＋ローカル）に活躍できる人材に育っている 11 子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しみ、健康に暮している |
| 中施策 | 37 夢を見つけるための環境をつくる 11 誰もが運動を楽しめる機会や場をつくる |
| 事業の対象 | 市内小中学校の児童生徒、市民 |
| 目的 | 学校教育に支障のない範囲で、小学校プール施設を市民の利用に供することにより、コミュニティの場を提供し、市民の健康保持増進と体力の向上を図ることを目的とする |
| 事業概要 | 豊明市立栄小学校及び中央小学校のプール施設を夏季休暇期間（各10日間）市民に開放する |
| 組織体制 人員 | 合計13名 内訳：市職員1名 業務委託（各小学校に6名） 【業務管理責任者1名、監視業務員4名、受付業務員1名】 |

2. 目標値と活動実績

| | |
|------|--|
| 活動内容 | <p><活動概要></p> <p>平成9年度より、栄小学校、中央小学校、沓掛小学校の3校を、市民誰もが気軽に水泳に親しみ、健康増進や体力向上の場として提供してきた。近年は利用者が減少し、1日当たりの利用者は、ほぼ半減している。そこで利用者が特に少なかった沓掛小学校を、H29年度から中止し、民間プール活用に切り替え、学校プール開放は2校での実施とした。また、日数の絞り込みも行い、1日当たりの利用者数はやや改善しているが、天候等による影響も大きいので、推移を見守りながら、ニーズの把握に努めるとともにさらなる検証が必要である。担当課としても、広報やHPにより周知するとともに、学校からも児童・生徒に利用を促すように働きかけている。なお、対象は市民であるが、学校施設を利用することもあり、実際の利用者は小中学生であり、一般利用は全利用者の6%程度である。</p> |
|------|--|

| 利用実績 | | H29 年度 | | H30 年度 | | R1 年度 | | | |
|--------------|-----------------|-----------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|-------------------------------|----------|--|----------|--|
| | | 開放日数 | | 各校 20 日間 | | 各校 14 日間 | | 各校 10 日間 | |
| | | 栄小利用者数 | | 1,598 人 | | 933 人 | | 1,227 人 | |
| | | 中央小利用者数 | | 1,134 人 | | 707 人 | | 635 人 | |
| | | 総利用者数 | | 2,732 人 | | 1,640 人 | | 1,862 人 | |
| | | 一日当たり利用者数 | | 68 人/日 | | 58 人/日 | | 93 人/日 | |
| コスト | 実施年度 | H28 年度 (決算) | H29 年度 (決算) | H30 年度 (決算) | R1 年度 (実績) | | | | |
| | 総事業費 (業務委託費) | 7,236 千円 (3 校で延べ 60 日間) | 5,130 千円 (2 校で延べ 40 日間) | 4,298.4 千円 (2 校で延べ 28 日間) | 3,510 千円 (2 校で延べ 20 日間) | | | | |
| 目標 (成果指標) | | 誰もが、気軽にスポーツに親しみ、健康に暮らせるような場を提供する。 | | | | | | | |

3. 課題

| | |
|---------------------------------|--|
| 課題 (課題や環境 の変化について) | <p>① 利用者数 天候等にも影響されたり、児童生徒の余暇の生活スタイルの変化もあつたりしている面もあるが、最盛期に比べると減少傾向にある。</p> <p>② 開放校の所在 開放に適した学校プールが、市域に均衡した所在とは言えず、利用者が限定されている可能性がある。</p> <p>③ 熱中症対策 屋外プールのため、近年は熱中症対策も必要であり、他の場所での実施も考慮する必要がある。</p> |
|---------------------------------|--|

4. 参考比較

| | |
|------------------------|--|
| 他自治体の 実施状況等 | <p><他市町の状況> 長久手市 2校 延べ51日間 委託 4,381,560円 延べ1,916人 人員体制 管理責任者1名、水面監視員：平日2名、土日祝3名、受付員1名、雑踏警備員1名 過去の実績 H30：1,684人(48日)、H29：2,295人(53日)、H28：2,443人(52日)</p> <p>日進市 実施していない。 (過去も実施していない)</p> |
|------------------------|--|

| | <p>東郷町 1校 29日間 委託 3,719,912円 延べ1,965人 人員体制 責任者、監視員、受付員 ※詳細な人員の指定なし（実際は4～5名） 過去の実績 H30：1,794人（30日）、H29：1,840人（30日）、 H28：2,054人（30日）</p> <p>尾張部 22市中（16開放（3取止め検討） 6無開放）</p> <p><本市の学校プールの現状と今後の施設管理> 学校授業における水泳指導の民活化を進めており、学校プールを使用しなくなっていく方向性がある。 【既に民間委託を導入している小学校】 ・豊明小学校（H30年度～） ・唐竹小学校、双峰小学校（R1年度～） ・栄、中央、大宮小学校以外6校で実施予定（R2年度～）</p> <p><市内の民間プール開放事業> 市内の民間プール事業者（コパン）にて、夏休み期間中に2日間の一般市民開放を行っている。</p> | | | | | | | | | | | |
|-------|---|---------|---------|-----|----|------|-----|-----|-----|-------|---------|---------|
| | <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数</td> <td>143</td> <td>131</td> <td>164</td> </tr> <tr> <td>費用（円）</td> <td>185,760</td> <td>185,760</td> <td>185,760</td> </tr> </tbody> </table> | 年度 | H29 | H30 | R1 | 利用者数 | 143 | 131 | 164 | 費用（円） | 185,760 | 185,760 |
| 年度 | H29 | H30 | R1 | | | | | | | | | |
| 利用者数 | 143 | 131 | 164 | | | | | | | | | |
| 費用（円） | 185,760 | 185,760 | 185,760 | | | | | | | | | |

5. 論点

| | |
|---------|---|
| レビューの論点 | <p>本事業は、上記課題を解決すべく問題点を洗い出し、改善する必要がある。</p> |
| | <p>① 近隣市町プールの利用 近隣市町にある設備の整ったプールの活用を検討する。その場合、利用料補助や輸送を行う場合には安全な輸送体制についても検討する。</p> <p>② 民間プールの活用拡大 現在行っている市内民間プールの開放日拡大を検討するとともに、他の民間プールの利用や現事業との併用を検討し、偏在を緩和する。</p> <p>③ 現事業の改善 他市町に比べコスト高となっているので、監視員体制等を見直すとともに、従前行っていた保護者やボランティア等の協力を検討してコスト低減を図る。</p> <p>なお、R2実施時に、現利用者等に対しニーズ調査（アンケート）を行い、本事業の方向性や代替事業を検討する。</p> |

| 学校教育課 | | 学校プール開放事業の推移 | | | | | | |
|----------|-------------|--------------|-------------|--|-------------|-------------|-------------|------------|
| | | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度 |
| 開放日数 | | 各校 25 日 | 各校 25 日 | 栄、中央小 ^{24日} 沓掛小 ^{21日} | 各校 20 日 | 各校 20 日 | 各校 14 日 | 各校 10 日 |
| 栄小学校実績 | 一般 | 228 人 | 130 人 | 242 人 | 191 人 | 153 人 | 98 人 | 63 人 |
| | 小中学生 | 2,776 人 | 1,941 人 | 2,239 人 | 1,630 人 | 1,369 人 | 803 人 | 1,142 人 |
| | 幼児 | 44 人 | 42 人 | 122 人 | 65 人 | 76 人 | 32 人 | 22 人 |
| | 合計 | 3,048 人 | 2,113 人 | 2,603 人 | 1,892 人 | 1,598 人 | 933 人 | 1,227 人 |
| | 1日平均利用者数 | 122 人 | 85 人 | 108 人 | 95 人 | 80 人 | 67 人 | 123 人 |
| | 学校プール指導日数 | 8 日 | 7 日 | 7 日 | 7 日 | 7 日 | 0 日 | 0 日 |
| | 降雨の日数 | 2 日 | 12 日 | 3 日 | 0 日 | 4 日 | 3 日 | 2 日 |
| | 開放日の最高気温 | 27.2～38.4℃ | 27.5～37.0℃ | 29.0～38.4℃ | 28.4～37.8℃ | 27.2～35.2℃ | 30.7～39.9℃ | 26.5～35.3℃ |
| 中央小学校実績 | 一般 | 113 人 | 63 人 | 79 人 | 76 人 | 117 人 | 66 人 | 62 人 |
| | 小中学生 | 2,287 人 | 1,901 人 | 1,639 人 | 1,397 人 | 942 人 | 608 人 | 548 人 |
| | 幼児 | 58 人 | 28 人 | 45 人 | 56 人 | 75 人 | 33 人 | 25 人 |
| | 合計 | 2,458 人 | 1,998 人 | 1,763 人 | 1,529 人 | 1,134 人 | 707 人 | 635 人 |
| | 1日平均利用者数 | 98 人 | 80 人 | 73 人 | 76 人 | 57 人 | 51 人 | 64 人 |
| | 学校プール指導日数 | 7 日 | 7 日 | 7 日 | 7 日 | 5 日 | 5 日 | 5 日 |
| | 降雨の日数 | 2 日 | 12 日 | 3 日 | 0 日 | 4 日 | 3 日 | 0 日 |
| | 開放日の最高気温 | 27.2～38.4℃ | 27.5～37.0℃ | 29.0～38.4℃ | 28.4～37.8℃ | 27.2～35.2℃ | 30.7～39.9℃ | 34.7～37.0℃ |
| 沓掛小学校実績 | 一般 | 96 人 | 40 人 | 64 人 | 79 人 | | | |
| | 小中学生 | 1,095 人 | 522 人 | 870 人 | 777 人 | | | |
| | 幼児 | 71 人 | 14 人 | 38 人 | 33 人 | | | |
| | 合計 | 1,262 人 | 576 人 | 972 人 | 889 人 | | | |
| | 1日平均利用者数 | 50 人 | 23 人 | 46 人 | 44 人 | | | |
| | 学校プール指導日数 | 9 日 | 7 日 | 7 日 | 6 日 | | | |
| | 降雨の日数 | 2 日 | 12 日 | 3 日 | 0 日 | | | |
| | 開放日の最高気温 | 27.2～38.4℃ | 27.5～37.0℃ | 29.0～38.4℃ | 28.4～37.8℃ | | | |
| 総利用者数 | 6,768 人 | 4,687 人 | 5,338 人 | 4,310 人 | 2,732 人 | 1,640 人 | 1,862 人 | |
| 1日平均利用者数 | 90.2 人 | 62.5 人 | 75.6 人 | 71.8 人 | 68.3 人 | 58.6 人 | 93.1 人 | |
| 開放業務委託料 | 7,245,000 円 | 7,560,000 円 | 7,290,000 円 | 7,236,000 円 | 5,130,000 円 | 4,298,400 円 | 3,510,000 円 | |

夏季休業中の水泳指導実施状況

| | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 元年度 |
|-----|------|------|------|------|------|------|-----|
| 栄小 | 8回 | 7回 | 7回 | 7回 | 7回 | 0回 | 0回 |
| 中央小 | 7回 | 7回 | 7回 | 7回 | 5回 | 5回 | 5回 |
| 沓掛小 | 9回 | 7回 | 7回 | 6回 | | | |
| 大宮小 | 9回 | 7回 | 7回 | 7回 | 6回 | 6回 | 5回 |
| 三崎小 | 7回 | 9回 | 3回 | 7回 | 8回 | 0回 | 0回 |
| 館小 | 12回 | 10回 | 11回 | 10回 | 8回 | 0回 | 0回 |



愛知県豊明市行政経営部企画政策課

TEL : 0562 (92) 8318

E-mail : kikaku@city.toyoake.lg.jp

URL : <http://www.city.toyoake.lg.jp/>